

2018年に改定されたガイドライン

1) 高齢者肥満症診療ガイドライン2018

一般社団法人日本老年医学会ホームページ

<https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/>

日本老年医学会による「高齢者生活習慣病管理ガイドライン」作成の方針を受け、高齢者糖尿病、高血圧、脂質異常症について発刊されており、今回の肥満症で4病態についてのガイドラインが出揃った。肥満症の診療については、日本肥満学会の肥満症診療ガイドライン2016年版に詳しいが、認知症・ADL低下をアウトカムとして新たな視点が加わっている。高齢者肥満症の食事療法の原則や運動療法、サルコペニア肥満に対する治療成績も文献とともに紹介されており、管理栄養士必読の一冊である。

2) リハビリテーション栄養学会診療ガイドライン 2018年版

日本リハビリテーション栄養学会

<http://www.j-athero.org/publications/>

近年、栄養療法とリハビリテーション(以下リハ)の融合が注目されているが、今回「脳血管疾患」、「大腿骨頸部骨折」、「がん」、「急性疾患」の4疾患のリハと栄養療法に関する知見が診療ガイドラインとしてまとめられた。疾患別のクリニカルクエスチョン(CQ)と、それに対するリハおよび栄養療法について文献をもとに検証された推奨をもって返答するという構成になっている。例えば、リハを実施されている高齢脳血管疾患患者に、強化型栄養療法は行うべきか？というCQに対する推奨が記載されている。推奨の根拠となる文献も多数掲載されており、エビデンスに基づいた栄養療法やリハについての理解を深めるために参考になる。

日本リハビリテーション栄養学会誌

第2巻・第2号・2018年10月号

発行日: 2018年10月25日

発行: 一般社団法人 日本リハビリテーション栄養学会

制作: 医歯薬出版